

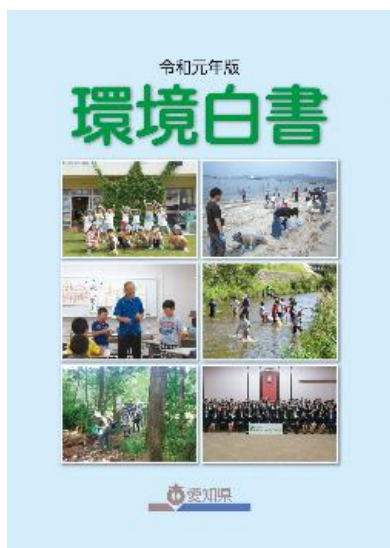
愛知県環境情報紙

# 環境かわら版



<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

令和2年1月号（第284号）



令和元年版環境白書を発行しました (P2)



かがやけ☆あいちサステイナ研究所の成果発表会を開催しました (P9)



「あいちの未来クリエイト部」の活動状況を紹介します (P7)



「Let's エコアクション in AICHI」を開催しました (P10)



エコアクションを  
はじめよう! つづけよう! つなげよう!

<http://aichi-eco.com>



## 令和元年版環境白書を発行しました



環境白書は、愛知県の環境の状況及び環境の保全の施策をとりまとめたもので、県環境基本条例に基づき、毎年議会へ報告しています。

昭和46年の初刊発行以来49冊目となる「令和元年版環境白書」は、今年的主要な事業やプロジェクトを第1部「特集」として巻頭で紹介し、第2部では「平成30年度の環境の状況と施策」を掲載しています。さらに巻末では、環境基準等の各法令に基づく基準値などを資料編として加えています。

**特集1** プラスチックごみ問題に対する取組

**特集2** 生物多様性保全に向けた国際連携の取組  
～「愛知目標」の達成を目指す愛知県のリーダーシップ～

＜環境白書をご覧になりたい方は＞

環境局 Web ページ「あいちの環境」に全文を掲載

しています。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/0000057223.html>)

また、「愛知県県民相談・情報センター」内の情報コーナー（愛知県自治センター2階）では、1部870円で販売しています。



神野博史県議会議長（中）及び堀岩純一県議会副議長（右）へ森田環境局長から報告（12月13日（金））

環境政策課 企画・広報グループ  
電話 052-954-6210（ダイヤルイン）

## 大規模な太陽光発電事業が 環境アセスメントの対象となります



愛知県では、現在、太陽光発電事業に伴って大規模な土地の造成（事業面積75ha以上）を行う場合には、愛知県環境影響評価条例に基づき、「工業団地の造成の事業」として、事前に環境アセスメントを実施する必要があります。

一方、環境影響評価法では、太陽光発電事業は対象となっていませんでしたが、国は、大規模な太陽光発電事業によって、土砂の流出、濁水の発生、景観への影響、動植物の生息・生育環境の悪化などの問題が生じていることから、2019年7月に同法施行令を改正し、大規模な太陽光発電事業（太陽電池発電所の設置等の工事の事業）を環境アセスメントの対象事業に追加しました（2020年4月1日施行）。

これを踏まえ、条例においても、2019年12月に施行規則を改正し、同事業を環境アセスメントの対象事業に位置付けることとしました（法と同日施行）。

これらの改正により環境アセスメントが必要となる太陽光発電事業は、下表のとおりです。

該当する太陽光発電事業を実施しようとする場合は、環境活動推進課環境影響評価グループにご相談ください。

### 環境アセスメントが必要となる太陽光発電事業

規模	手続根拠
出力4万kW以上	法
出力3万kW以上4万kW未満	法又は条例
事業面積75ha以上* (出力3万kW未満)	条例

※ 土地の造成を行う場合に「工業団地の造成の事業」として対象となります。

環境活動推進課 環境影響評価グループ  
電話 052-954-6211（ダイヤルイン）



## 「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施します



買い物をするとき、本当に必要かどうかを十分に考えた上で、価格や品質、利便性、デザインだけでなく、環境負荷ができるだけ少ない商品を購入することを「グリーン購入」といいます。

愛知県は、グリーン購入の普及と定着を図るため、岐阜県、三重県、名古屋市及び関係団体・事業者と協働し、「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中、下図のような環境ラベルが付いた商品や地元でとれた旬の野菜、詰め替え商品などの地球に優しい商品を購入し、アンケートに答えてご応募いただくと、抽選で200名様にエコ商品が当たります。



環境ラベルの一例

### 【キャンペーン期間】

1月10日（金）～2月9日（日）

### 【応募方法】

「懸賞応募はがき」又は「ネット応募フォーム」からご応募ください。



ネット応募フォームはこちらから

### 【キャンペーンイベントの開催】

1月25日（土）、26日（日）には、テラスウォーク一宮でグリーン購入啓発イベント「テラスウォークエコ博」を、ユニー（株）と共催します。是非会場にお越しください。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/2019greenkounyuucampaign.html>)

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ  
電話 052-954-6241（ダイヤルイン）



## あいち森と緑づくり活動発表・交流会を開催します



愛知県では、森と緑づくりにつながる活動や環境学習を行う NPO・ボランティア団体、市町村などに対し、「あいち森と緑づくり税」を活用した「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」による支援を行っています。

この度、「あいち森と緑づくり活動発表・交流会」を開催し、今年度支援した104団体のうち4団体の取組発表や、参加者同士での情報交換などを行います。

森や緑に関する環境保全活動を実施している方、他の団体の活動を知りたい方、新たに環境活動を始めたい方など、どなたでも無料で参加いただけますので是非お越しください。

1 日時 1月22日（水）13:30～16:30

2 場所 愛知県図書館5階大会議室  
(名古屋市中区三の丸1-9-3)

### 3 定員

150名（先着順。定員超過で参加いただけない場合のみご連絡します。）

### 4 申込方法

氏名、団体所属の方は団体名、電話番号、Eメールアドレスをご記入の上、FAX又はEメールによりお申込みください。

FAX：052-954-6914

Eメール：kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp

### 5 申込期限

1月20日（月）

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/happyou-kouryuu.html>)

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ  
電話 052-954-6241（ダイヤルイン）



## 海ごみ減らそうプロジェクト・

## ごみゼロ社会推進あいち県民大会を開催します



「海ごみ」は近年、国際的な会議で議題に取り上げられるなど、世界的な課題となっています。愛知県の海岸にも多くのごみが漂着しており、その多くは街から出た生活系のごみが河川を経由して海岸に流れついたと考えられています。

県ではこうした海ごみの問題を広く県民の皆さんに知っていただき、海ごみ削減の取組が広がるように「海ごみ減らそうプロジェクト」を開催します。また、近年問題となっているプラスチックごみを中心に、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の普及を進めるため「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を同時に開催します。

参加・観覧は無料で、事前申し込みは不要です。清掃活動の参加者には記念品を用意していますので、皆さんお誘い合わせの上、是非ご来場ください。

1 日程 1月25日（土）

2 主催

愛知県・ごみゼロ社会推進あいち県民会議※

〔※事業者団体、消費者団体、県内市町村等 112 団体で構成〕

3 協力 一宮市

4 主な内容

(1) 海ごみ減らそうプロジェクト

①河川周辺清掃活動（受付 8:30～/9:00～10:00）

場所：名鉄名古屋本線木曾川堤駅 北側河川敷

参加者：鈴木 福 氏（俳優）、名古屋 CLEAR'S ほか

②屋内イベント（11:00～16:00）

場所：イオンモール木曾川 ノースコート

（一宮市木曾川町黒田字南八ツヶ池 25-1）

○トークショー

「ごみから守れ！

僕らの海・川・こころ」

出演者：鈴木 福 氏



○ワークショップ

・海岸漂着物を使ったフォトフレーム作り

①11:00～/②11:30～/③12:00～/④12:30～

・マイクロプラスチックを使った万華鏡作り

①13:30～/②14:00～/③14:30～/④15:30～

定員：各回 10 名

参加整理券を各団体ブースにて 10:30 から順次配布します。

○活動紹介ブース

NPO 法人 green bird（名古屋チーム）、BLUE WALK、sobolon など

○取組紹介ブース

ワンウェイプラスチック代替製品やプラスチックごみ削減の取組などを紹介。また、カードゲームで楽しく海ごみ問題を学ぶことができます。

(2) ごみゼロ社会推進あいち県民大会

(15:00～16:00)

場所：イオンモール木曾川 ノースコート

○愛知県知事、一宮市長挨拶

○レジ袋削減取組優良店の表彰

○あいちプラごみゼロ宣言

出演者：いとう まい子 氏（女優）ほか

○トークショー

「身近なところですぐでき

る！プラごみ減量のススメ」

出演者：いとう まい子 氏



詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/junkan/>

r1lumigomi-kenmin.html)

〔資源循環推進課 一般廃棄物グループ  
電話 052-954-6234（ダイヤルイン）〕

## 「VOC・水銀排出抑制及びPCB廃棄物の 適正な処理促進に関するセミナー」を開催します

3 すべての人に  
健康と福祉を

11 社会の持続可能な  
発展を実現

12 つくし未来  
つづける未来

大気汚染の原因物質である VOC（揮発性有機化合物）や水銀の排出抑制、PCB 廃棄物の適正な処理の促進を図るため、VOC 取扱事業者・PCB 廃棄物保管事業者等を対象にセミナーを開催します。セミナーでは、VOC や水銀の排出抑制対策の動向や取組事例、PCB 廃棄物の処分の手続き等について紹介します。

1 日時 1月30日（木）13:30～16:00

2 場所 名古屋市工業研究所

（名古屋市熱田区六番 3-4-41）

3 定員・参加費 300名（事前申込先着順）・無料

4 主催 中部経済産業局、愛知県、名古屋市、  
愛知県中小企業団体中央会

5 内容

【講演】

- ①「愛知県における VOC 排出抑制の取組等」  
（愛知県環境局環境政策部水大気環境課）

②「VOC 排出削減対策の動向」

（経済産業省産業技術環境局環境管理推進室）

③「水銀大気排出対策について」

（環境省中部地方環境事務所環境対策課）

④「PCB 廃棄物の適正な処理の促進について」

（環境省中部地方環境事務所資源循環課）

【VOC 排出削減対策事例の紹介】

住友理工（株）

（生産機能本部 安全環境統括部 環境管理部長）

6 申込方法

次の Web ページから申し込みフォームにアクセスし、1月15日（水）までにお申込みください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/r01vochgseminar.html>)

〔水大気環境課 大気規制グループ  
電話 052-954-6215（ダイヤルイン）〕

## 「第3回アスベスト対策に関する講習会」を開催します

3 すべての人に  
健康と福祉を

11 社会の持続可能な  
発展を実現

アスベスト（石綿）は過去に建築物等の材料として多く使用されており、アスベストが使用されている建築物等の解体作業を行うときは、大気中に飛散させないように、大気汚染防止法等に基づき、適切な措置をとることが重要です。

このため愛知県では、今年度、アスベストの飛散防止対策等に関する講習会を全3回シリーズで開催することとしており、この度、第3回の講習会を開催しますので、是非ご参加ください。

1 日時 2月5日（水）14:00～16:30

2 場所 伏見ライフプラザ 5階 鯉城ホール

（名古屋市中区栄 1-23-13）

3 定員・参加費 300名（事前申込先着順）・無料

4 主催 愛知県アスベスト対策協議会  
愛知県、名古屋市

5 主な内容

講演：「解体等工事における飛散防止対策及び法改正の動向」

講師：（一社）JATI 協会

技術参与 <sup>あきみ たくや</sup> 浅見 琢也 氏

6 申込方法

①所属 ②氏名 ③参加人数 ④連絡先（電話番号、FAX 番号、E メールアドレス）を記載の上、FAX（052-961-4025）又は E メール（[mizutaiki@pref.aichi.lg.jp](mailto:mizutaiki@pref.aichi.lg.jp)）により、1月31日（金）までに環境局環境政策部水大気環境課宛てお申込みください。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/asbestos020205.html>)

〔水大気環境課 大気規制グループ  
電話 052-954-6215（ダイヤルイン）〕



近年、プラスチックごみ(マイクロプラスチック)による海洋生態系への影響が懸念されており、世界的な課題となっています。

民間企業や公的団体では、使い捨てプラスチック製品の使用を控える動きが進んでおり、国も、レジ袋有料化について本年7月からの義務付けを検討しています。

こうした動き等に対応し、また、3Rを推進するため、愛知県では、イベントや各種事業のPRのために作成・配布する啓発物品の環境配慮の取組を進めています。

### 1 環境物品等調達方針 (2019年4月)

県が率先して環境負荷の少ない製品やサービスを調達するため、毎年度方針を定めており、2019年度の方針で啓発物品の作成について新たに留意事項に加えました。

- ・ 不必要な包装をしない
- ・ やむを得ず包装する場合は、原則、プラスチック包装材を使用しない (使用する場合は、生分解性プラなど環境に配慮されたものとする) とともに、ポイ捨て防止等の文言を記載する

### 2 環境局の啓発物品作成に当たっての基本的考え方 (2019年6月)

環境局では、より積極的に環境の取組をPRできるよう、局の基本的考え方(留意事項)を以下のとおり定め、実施しています。

- ・ 啓発物品本体は、原則としてプラ製品を使わない
- ・ 素材は、リサイクルに配慮されたものとする
- ・ 県産材、フェアトレード製品を推奨
- ・ やむを得ずプラ製品を使用する場合は、生分解性プラなど環境面のアピールができるものとする
- ・ エコマークなど環境ラベル製品を優先使用
- ・ 共通シンボルとして、SDGsマークを入れる

### 3 今後の展開

調達方針に基づく全庁の取組を推進するとともに、環境局の基本的考え方及び作成事例(他部局も含む)を全庁に展開し、環境配慮の取組を推進します。

〔作成事例〕



- ④ 愛知県 SDGs ピンバッジ
- ④ 植樹祭 ピンバッジ  
〔農林基盤局〕
- ※ ともに県産材使用



- コースター
- ※ 県産材使用
- ※ 紙製・SDGs マーク



- 布製エコバッグ
- ※ エコマーク
- ※ CO<sub>2</sub> 排出権取得製品



- 知事選啓発メルテ  
イティッシュユ  
〔総務局〕
- ※ 外装材含め、水溶性の紙を使用



- ④ 環境学習のプリント入りトイレットペーパー
- ④ SDGs 啓発メモパッド

〔環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ〕  
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

# 「あいちの未来クリエイト部」の 活動状況を紹介します



愛知県では、高校生を対象とした環境学習推進事業「あいちの未来クリエイト部」を2017年度から実施しています。

今年度は3校のグループがそれぞれのテーマで、6月から調査・研究を行っており、11月に刈谷市で開催した「Let's エコアクション in AICHI」にて、その成果を発表しました。



発表の様子

## ○愛知教育大学附属高等学校 自然科学部

本グループでは、カキツバタの生態を学び保全するため、カキツバタが群生している小堤西池こづつみにしいけの現状や現在行われている保護活動の内容を調査しました。小堤西池周辺に生育する動植物やカキツバタとの関係性、カキツバタにとっての森の役割、水面の高さの重要性を学びました。また、高校に自生するカキツバタを観察し、花にみえる部分がガクであること等、カキツバタの花の構造も理解しました。

発表会において生徒たちは、カキツバタの存続には、人の手により環境を整えることが必要だということを来場者に伝えました。

## ○県立阿久比高等学校 理科部

本グループでは、ホテルが棲みやすい環境づくりを学び阿久比町のホテルを保全するため、ホテルの生態及び町での保全活動についての聞き取り調査を行いました。また、阿久比町の「ふれあいの森」にあるホテルの養殖場から養殖方法を学び、生徒自らホテルの幼虫を養殖することで、ホテルの成長過程や幼虫の繊細さを実感しました。

発表会において生徒たちは、ホテルの保全活動に参加したり、阿久比高校の生徒や地域の人々にホタ

ルに興味を持ってもらえるよう取り組んだりすることで、保全活動の輪を広げていくことを来場者に伝えました。

## ○名古屋市立工芸高等学校 防災チーム

本グループでは、環境問題と災害の関係を学び自分たちにできる災害対策を考えるため、飛島村北拠点避難所等の災害対策現場の視察を行いました。ここでは、土地を開拓するのではなく、もともとある土地を活用して避難所を建設したことや、そこに住む人々の災害対策の考え方を学びました。また、防災や環境の専門家との意見交換を行い、誰にとっての環境かを考慮した上で、災害対策が環境に与える影響を検討しました。

発表会において生徒たちは、人間や他の生き物が生息する環境にはそれぞれ違いがあり、それらを考慮した災害対策が必要だということを来場者に伝えました。

発表会終了後は、これまでの活動にご協力いただいたファシリテーターの方々や専門家を招いて交流会を開催し、調査・研究や今後の教材作成に関する意見交換等を行いました。



交流会の様子

今後は、調査・研究の成果を基に環境学習教材を作成していく予定です。

活動の様子については、随時Web ページで発信していきます。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/mirai-create-home.html>)

〔 環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン) 〕

# 水質環境基準の水域類型の見直し(案)について、 ご意見を募集しています



環境基本法に基づき、生活環境の保全に関する環境基準（水域類型）が定められた県内河川の水域類型の見直しを、2016年度から2019年度にかけて順次実施しており、今年度は庄内川等水域等の見直しを実施しています。

見直しの案について、県民意見提出制度（パブリック・コメント）に基づき、ご意見を募集しています。

## 1 意見募集期限

1月15日（水）まで（郵便は当日消印有効）

## 2 水域類型の見直し(案)の閲覧・入手方法

愛知県のWebページ(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2019suiikiruikai.html>)から、資料と意見提出用紙を閲覧・入手できます。

また、県民相談・情報センター、各県民相談室などで閲覧できます。

## 3 意見の提出方法

意見提出用紙により、お住まいの市町村名、性別、年齢、職業をご記入の上、郵便、FAX 又は E メールにより提出してください。

<提出先>

郵 送：〒460-8501（住所不要）

環境局環境政策部水大気環境課

F A X：052-961-4025

Eメール：mizutaiki@pref.aichi.lg.jp

## 4 提出いただいたご意見への対応

- ・水域類型を見直す際の参考にします。
- ・いただいたご意見については、概要等をWebページで公表します。

（水大気環境課 調整・計画グループ  
電話 052-954-6221（ダイヤルイン））

# 「令和2年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」で 愛知県選考作品が日本鳥類保護連盟会長賞を受賞しました



（公財）日本鳥類保護連盟主催の「令和2年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」において、全国47,309点の中から、愛知県が推薦した江南市立布袋小学校1年瀬戸山芽依さんと名古屋市立比良西小学校3年加藤鷺登さんの作品が日本鳥類保護連盟会長賞を受賞しました。

このコンクールには、県内の584校の小・中・高等学校等において、24,367点の応募がありました。各学校での一次選考、各県民事務所等での二次選考等を通過した94点の優秀作品の中から、県自然環境課で主催する最終審査会で特に優秀と認められた33点を愛知県選考作品として全国コンクールへ推薦していたものです。

県では、野生鳥類についての理解と関心を深めていただくため、受賞作品を含む愛知県選考作品を次のとおり展示予定です。

## <日本鳥類保護連盟会長賞>



江南市立布袋小学校1年  
瀬戸山 芽衣さんの作品



名古屋市立比良西小学校3年  
加藤 鷺登さんの作品

## 【作品展示】

- 1 「あいち・なごや生物多様性 EXPO」（名古屋国際会議場）  
1月11日（土）・12日（日）：県選考作品（33点）
- 2 愛知県弥富野鳥園展示（月曜閉園）  
① 1月18日（土）～2月2日（日）：県最終審査作品（94点）  
② 2月8日（土）～2月23日（日）：同上
- 3 愛知県庁地下連絡通路展示  
5月11日（月）～5月15日（金）：県選考作品（33点）

（自然環境課 国際連携・生態系グループ  
電話 052-954-6229（ダイヤルイン））





# かがやけ☆あいちサスティナ研究所

## 成果発表会 2019 を開催しました



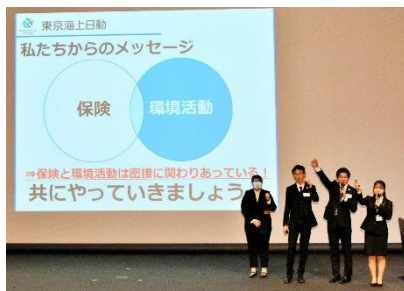
大学生を対象とした「人づくり」プログラム「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」では、12月15日(日)に愛知学院大学名城公園キャンパスで「成果発表会 2019」を開催しました。

研究員は6月の開所式以降、半年間をかけ、パートナー企業から提示された環境課題に対し、現場調査や企業担当者とのディスカッション等を行いながら、解決策を熱心に研究してきました。

この成果発表会では、各チームが研究成果を来場者の皆さんの前で発表し、パートナー企業から講評をいただきました。また、今年度の研究活動の締めくくりとなる修了式及び審査委員により決定した最優秀賞等の表彰式を行いました。

### 1 研究成果発表

各チームは、8分間という短い時間の中でパートナー企業、審査委員を始めとする約



発表の様子

300人の参加者へ、工夫を凝らした、わかりやすい発表を行いました。

各チームの発表後には、パートナー企業から講評があり、「実現に向け早速検討したい」、「一緒に企画を実現させたい」、「私たちには思いつかない斬新なアイデアをいただいた」などのコメントをいただきました。

### 2 修了式

各チームの発表終了後、研究所所長の大村知事も参加して、修了式を実施しました。



修了証授与の様子

研究員を代表して、チーム・ららぽーとの真田凌太郎さなだりょうたろうさんが大村知事から修了証を受け取り、「地域の環境活動の担い手として、持続可能な社会の実現に向け、率先して行動・

発信していきたい」と意気込みを述べました。

また、大村知事は、「研究活動で大いに議論したこの経験を、今後の様々な環境活動で生かしてほしい」と修了生にエールを送りました。

### 3 表彰式

一般社団法人中部 SDGs 推進センター代表理事の戸成司朗となりしろうさんを始め4名の審査委員による審査で最優秀賞及びかがやき賞を選定するとともに、参加者による投票でオーディエンス賞を決定し、表彰式において発表・表彰を行いました。

審査の結果、栄えある最優秀賞は、チーム・TOPPAN(凸版印刷(株))が受賞しました。

同チームは、「SDGs 達成に向けた未来の『環境配慮型パッケージ』を検討せよ」という課題に対し、生理用ナプキンを取り上げ、プラスチック削減と過剰包装をなくす環境配慮に加え、ナプキンらしくないおしゃれな外装を提案。資源の有効活用だけでなく、生理のタブーをなくし、ジェンダーフリー達成にも資する内容が評価されました。

また、かがやき賞は、チーム・積水ハウスが、オーディエンス賞は、チーム・tokio marine(東京海上日動火災保険(株))がそれぞれ受賞しました。

受賞チームには、大村知事から賞状が授与され、各チームの研究員代表が笑顔で受領しました。



最優秀賞、オーディエンス賞、かがやき賞受賞チーム

環境政策課 企画・広報グループ  
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)



# 「Let's エコアクション in AICHI」を開催しました

愛知県では、地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」の輪を県全体に広げていくため、2014年度から「Let's エコアクション in AICHI」を開催しています。

今年度は、SDGsの実現に向けて「つなげよう SDGsへ そのアクション」をテーマに、刈谷市との共催により、11月23日（土・祝）、24日（日）に刈谷市のみなくる広場、刈谷市総合文化センターアイリス、夢と学びの科学体験館及びトヨタ車体(株)刈谷ふれ愛パークにおいて開催しました。

ステージでは、エコ実験パフォーマーの「らんま先生」によるサイエンスショーや地元アイドルグループ「OS☆U」（あいちエコアクション広報部）によるエコアクションクイズ、「あいちの未来クリエイト部」の活動発表などを行いました。

おいて表彰式を実施し、賞状と記念品を贈呈しました。受賞作品についてはWeb ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/ecochara2019.html>)



エコキャラ表彰式

さらに、企業や団体のワークショップでは、自然素材を使った工作やSDGsを題材としたゲーム、ピオトープで自然と触れあう環境学習会やエコな調理体験などを行いました。



らんま先生によるサイエンスショー



自然素材を使った工作



OS☆Uによるエコアクションクイズ

また、エコアクション推進の一環として中学生以下の方を対象に募集した、エコアクションを題材としたマスコットキャラクター「エコキャラ」（応募数：334作品）の受賞作品について、本イベントに

本イベントでは、CO<sub>2</sub>排出量削減のため、発電機の使用を控え、燃料電池自動車「MIRAI」から電力を供給したり、来場者への配布物についてプラスチック製品の使用を削減したりするなど、さまざまなエコアクションを取り入れて開催しました。

当日は、多くの方にご来場いただき、イベント全体を通じて楽しみながらエコアクションやSDGsについて関心を高めていただくイベントとなりました。

〔環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208（ダイヤルイン）〕

## 1 今後の天候の見通し

名古屋地方気象台は、東海地方における今後の天候の見通しについて、寒気の南下が弱く冬型の気圧配置が長続きしないため、気温は平年並か高いと予測しています。

愛知県（名古屋市）では、直近5か月間（8月～12月）の日平均気温が、平年より高い状況が継続しています（表1）。

## 2 愛知県における1月の気象の特徴

過去40年間の1月の月平均気温の推移について、名古屋（平野部）と稲武（山間部）の気温の移り変わりを図1に表します。平野部、山間部とも似た形を示しており、いずれも1980年代のような極端な厳冬が近年はほとんど現れていないことが分かります。

## 3 気候変動によるシカの増加

環境省によると、近年はシカの分布に拡大傾向がみられ、その要因は、耕作放棄地の増加や狩猟者の減少等に加え、先述した気温上昇による積雪条件の変化、積雪量や積雪期間の短縮もあると考えられています。

本県でもシカの個体数は増加傾向にあり、生息域の拡大が進んでいます。これはオスの捕獲頭数制限をはじめとした過去の保護政策や、休耕田の増加に伴い餌が増加したこと等の他、温暖化により子ジカ等の冬期の死亡率が低くなったことも考えられます。

こうしたシカの生息数の増加は森林生態系への影響等が懸念されており、中でも森林被害は、シカによる枝葉の食害や剥離被害が全体の約7割を占めています（図2）。

## 4 獣害対策支援アプリの開発（適応策）

シカによる農林業被害対策のため、県では他機関と連携して、2016年に獣害対策支援アプリ「やるシカない！」を開発しました。

このアプリは、地域のシカの数を把握する「①シカ密度の現状把握マップの表示」、シカが出現しやすい地区を把握し、効率よく捕獲するための「②シカ出現予測マップの表示」、シカの見撃情報や被害情報

を報告するシステム「シカ情報マップ」の情報を表示する「③シカ目撃地点、シカ被害地点の表示」の3機能を有しており、シカ柵の設置、捕獲、被害予防や交通事故対策等に利用されています。

## 5 広葉樹の植樹体験（緩和策）

シカ等による森林被害がある一方で、植樹体験などの活動も行われています。「新城設楽生態系ネットワーク協議会」では、広葉樹の植樹体験等を楽しめる自然体感ツアーを2014年度から実施しており、今年度も9月に東栄町において植樹体験を実施しました。こうした活動により豊かな生物多様性を育むとともに、CO<sub>2</sub>を減少させる緩和策の一環として温暖化対策に寄与する行動に取り組んでいます。

表1 名古屋における日平均気温の比較

月	8月	9月	10月	11月	12月
2019年	28.9℃	26.7℃	20.3℃	13.4℃	9.1℃※
平年	27.8℃	24.1℃	18.1℃	12.2℃	7.0℃
差	+1.1℃	+2.6℃	+2.2℃	+1.2℃	+2.1℃

※12月は12/23までの数値

(名古屋地方気象台の観測データを基に作成)

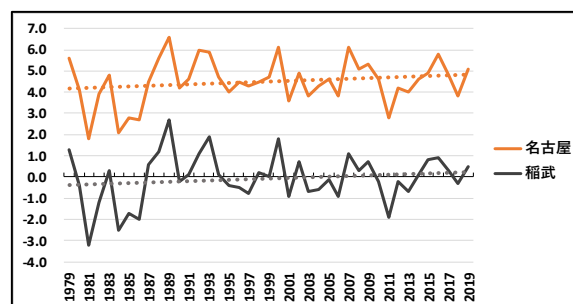


図1 1月における月平均気温

(名古屋地方気象台の観測データを基に作成)

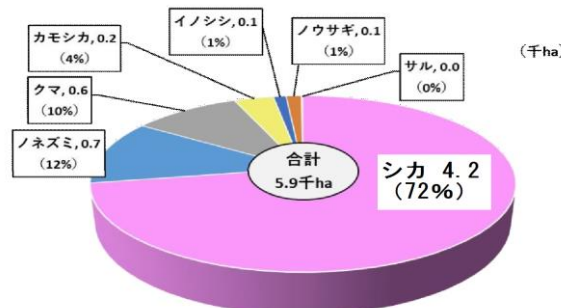


図2 主要な野生鳥獣による森林被害面積 (2018年度)

(出典：林野庁ホームページ)

環境調査センター 企画情報部  
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

# 「第54回全国野生生物保護実績発表大会」において 愛知県内の学校が優秀な成績を収めました



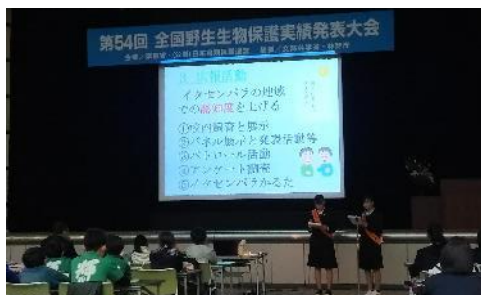
2019年11月25日に環境省と(公財)日本鳥類保護連盟主催の「第54回全国野生生物保護実績発表大会」が環境省講堂で開催されました。この大会は児童生徒が中心となって行う模範的な野生生物保護の発表です。全国から選定された10団体のうち、愛知県からは2校が荣誉ある賞に輝きました。

## ＜受賞結果及び活動内容＞

### ○ 愛知県立木曾川高等学校【環境省自然環境局長賞】

木曾川高等学校総合実務部では、国の天然記念物、絶滅危惧種 IA 類の淡水魚「イタセンパラ」の保護活動として、3本柱(①イタセンパラや外来生物等の調査、②イタセンパラの校内飼育と展示および広報活動、③生息地のワンド周辺の保全活動)を計画、実践しています。

特に次の世代を担う子どもたちにイタセンパラの保護の大切さを伝えることを目標に、「イタセンパラかるた」を制作し、イタセンパラの特徴や生息の様子、外来生物、環境問題について、小学生が「楽しく」「正しく」知ることを目的に、「かるた大会」を実施しています。「イタセンパラかるた」は独自性のあるアイデアとして評価されました。



「国の天然記念物『木曾川のイタセンパラ』の保護につながる活動」発表の様子

### ○ 岡崎市立美合小学校【日本鳥類保護連盟会長褒状】

美合小学校は、国の天然記念物ゲンジボタル(生田螢)の発祥地として1935年に指定された美合地区にあります。ゲンジボタルが飛び交う「ふるさと美合」をめざして、ゲンジボタルの保護育成、増殖活動などを行っています。

主な活動は、学区に流れる山綱川の保全活動として、地域の方々と清掃や草刈り、水質調査を行い、河川の環境保護に協力しています。また、生態系のバランスを考えながら、ゲンジボタルのエサとなるカワニナの繁殖の推進や、ホタル幼虫を飼育して山綱川に放流する増殖活動を行っています。

80年間続く伝統ある美合小学校のこの活動は、人から人へつながられた活動として評価されました。



「生田螢は美合の宝～未来へつなげ ぼくたちの宝～」発表の様子

こうした児童生徒による素晴らしい活動が今後も発展していくとともに、野生生物保護思想の高揚と生物多様性保全の取組が地域全体に広がるよう、県として普及啓発等を行っていきます。

〔 自然環境課 国際連携・生態系グループ  
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン) 〕

愛知県環境情報紙「環境かわら版」  
令和2年1月6日発行(第284号)  
編集・発行 愛知県環境調査センター  
企画情報部  
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6  
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

### 編集後記

明けましておめでとうございます。2020年は、COP10で採択された生物多様性の世界目標である「愛知目標」の目標年であり、温室効果ガス削減に関する国際枠組みの「パリ協定」の取組がスタートする節目の年です。これを機に、皆さんも、周りの環境の変化や自分の生活を振り返り、新しい気持ちで、新しいエコアクションに取り組んでみませんか。(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境局Webページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。